

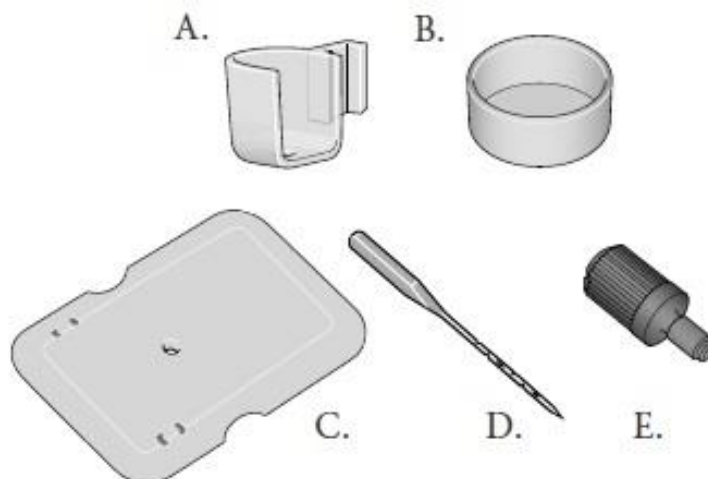
FELTING EMBROIDERY SET (フェルト刺しゅうセット) 取扱説明書

フェルティングアクセサリ

ハスクバーナバイキング® フェルト刺しゅうセットをお使いになると立体的なフェルト刺しゅうを作成することができます。刺しゅう糸は使いませんが特殊な針を使用することでフェルトのような風合いを作り、原毛や生地をドラマチックに変化させて装飾効果を楽しむことができます。

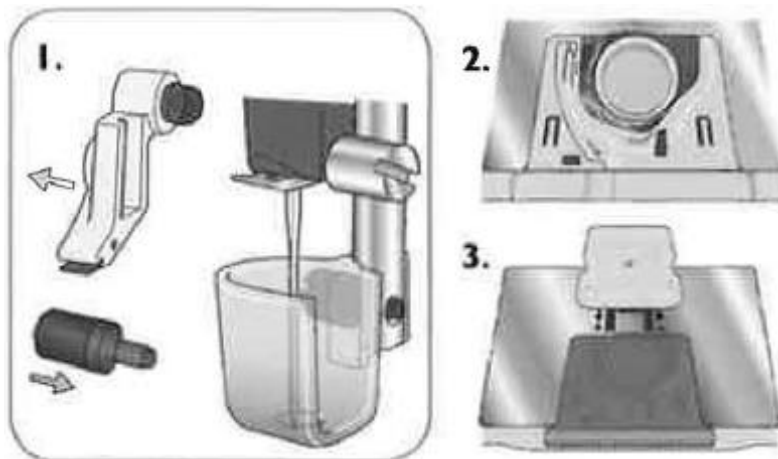
付属品

- A. フェルティング押え
- B. フェルティングボビン
- C. フェルティング針板カバー
- D. フェルティング針 (5本)
- E. 押え止めネジ



フェルティングの準備

1. 針を取り外します。
2. フェルティング針を取り付けます。
3. 押え金止めネジを緩めて取り外し、アングルごと押え金を外します。フェルティング押えを押え棒に取り付けて止めネジで固定をします。
4. フェルティングボビンをボビンケースの中に入れます。(下糸が少ないという警告を防ぐため)
5. フェルティング針板カバーをミシンの針板に取り付けます。針板の送り歯の溝と両側の穴に針板カバーのピンが入るように確実に取り付けてください。
※ フェルティング針は通常の針よりも短くこの特別なカバーを利用して素材をしっかりとフェルト化していきます。
6. セットメニューの“センサーQ押え”のチェックを外し無効にしてください。



素材

フェルト刺しゅうセットを使えば、ほとんどの素材をフェルト化することができますが、より装飾やクリーニングをスムーズに行うことができる素材がいくつかあります。

お勧めは、天然繊維で作られた素材でウールや原毛などです。素材の表面に起毛を出すことで特徴的な効果を出していきます。

表面の起毛は、しっかりと素材に絡みついています。

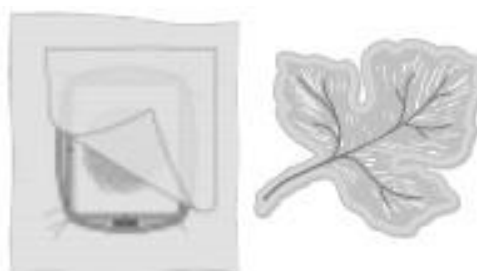
滑らかな仕上げの織物や洗って着用するようなものとの組み合わせは、避けてください。

刺しゅう枠を使う

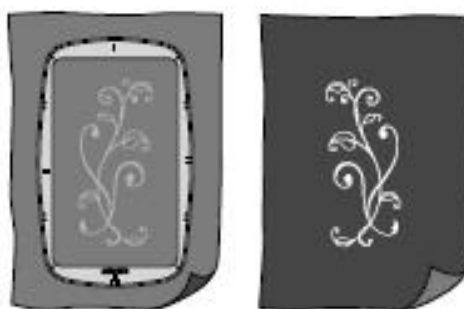
フェルティング針を使って刺しゅうするときには、糸は使いません。生地をセットする場合には表を裏側になるように刺しゅう枠に取り付けます。

Free-standing designs(単体デザイン)を刺しゅうするときや原毛を使うときには、水溶性安定紙が必要になります。(図を参照してください)

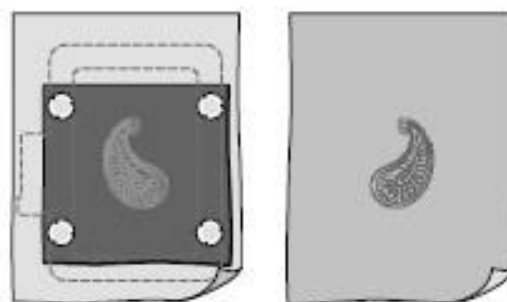
1. Free Standing Embroidery
(単体での刺しゅう)



2. One-Layer Embroidery
(1枚での刺しゅう)



3. Multi-Layer Embroidery
(重ねての刺しゅう)



フェルティングテクニック

“www.husqvarna-viking.jp”もしくは“www.husqvarnaviking.com”から Free Standing（単体デザイン）、One-Layer（1枚でのデザイン）、Multi-layer embroidery（重ねてのデザイン）の3つをダウンロードすることができます。これらのやり方については、以下をご参照ください。

ダウンロード先：“www.husqvarna-viking.jp”もしくは“www.husqvarnaviking.com”

検索：フェルト刺しゅうセットもしくは Felting Embroidery Set をアクセサリの中から選択します。

ダウンロード：デザインのダウンロードをクリックします。

1. Free Standing Embroidery（単体での刺しゅう）

- ・刺しゅう枠に水溶性安定紙を取り付けます。
- ・安定紙の上に原毛を置きます。
- ・原毛を覆うように別の水溶性安定紙を原毛の上に置きます。
- ・刺しゅうが終了したら原毛と安定紙を切り取ります。最後にぬるま湯で水溶性安定紙をもみ洗いをして溶かします。

注意：フェルティング針使用時は、センサーQ押えのチェックを外してください。

注意：デザインが終了したら必ず針板を外しボビン周りの掃除をしてください。

2. One-Layer Embroidery（1枚での刺しゅう）

- ・刺しゅうする生地を表を裏側にして刺しゅう枠に取り付けます。
- ・刺しゅうデザインを始めます。

ヒント：よりデザインの効果を出すには、刺しゅうデザインを2回行います。

注意：フェルティング針使用時は、センサーQ押えのチェックを外してください。

注意：デザインが終了したら必ず針板を外しボビン周りの掃除をしてください。

注意：アンティーク調の雰囲気にはデニムを使い盛り上がった風合いを出すにはフェルトやフリースを使います

3. Multi-Layer Embroidery(重ねての刺しゅう)

- ・刺しゅうする生地を表を裏側にして刺しゅう枠に取り付けます。
- ・裏側にした生地の上に別の素材（フェルト、フリースなど）を置きます。
- ・刺しゅうが終了したら、余分な素材（フェルト、フリースなど）を切り取ります。

ヒント：表を裏側にした刺しゅう枠の生地の上になるようにフェルトを置きます。

ヒント：原毛を重ねる場合には、別の水溶性安定紙で覆うように原毛の上においてください。刺しゅうが終了したら安定紙を取り除きます。

注意：フェルティング針使用時は、センサーQ押えのチェックを外してください。

注意：デザインが終了したら必ず針板を外しボビン周りの掃除をしてください。